

Injury Alert (傷害速報)類似事例

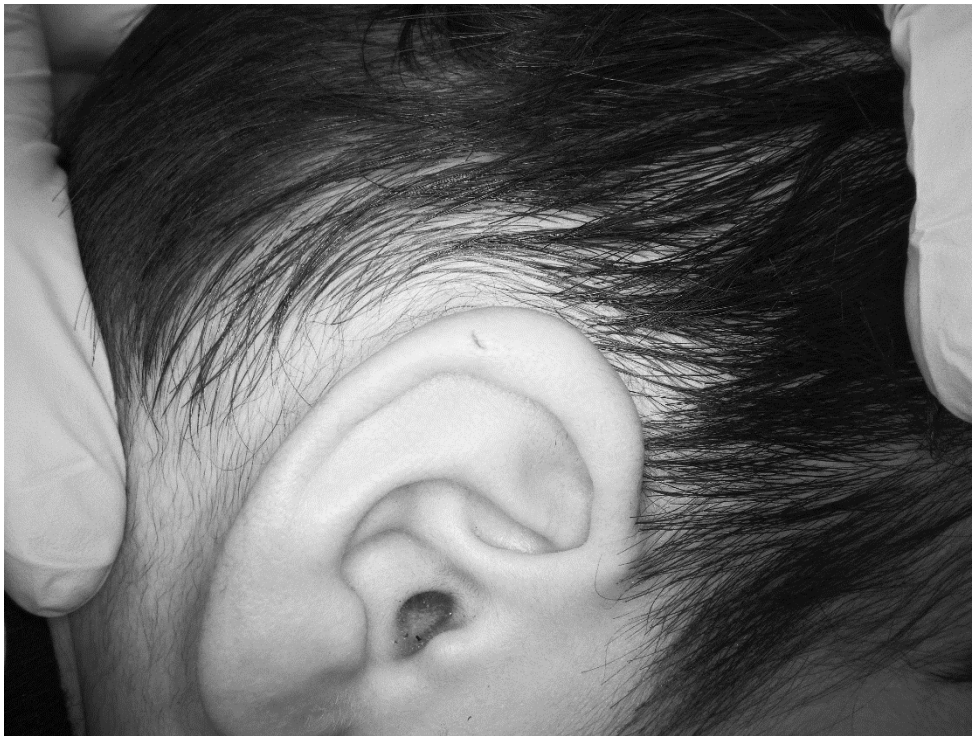
ダンボール用ステープル針による右耳介貫通創 (No.80 金属製のフックによる眼瞼裂創の類似事例 3)

事例	基本情報	年齢：1 歳 6 か月 性別：男児 体重：10kg 身長：85cm
	家族構成	父、母、本児
	発達・既往歴	特記すべき既往歴なし
臨床診断名		右耳介貫通創
医 療 費		外来 18,550 円 (選定医療費 5,000 円含む)
原因対象	対象名称	ダンボール用ステープル針
	入手経路 使用状況	リンゴの入ったダンボール (高さ 15cm×横 40cm×縦 60cm) がミネラルウォーターの入ったダンボールの上に重ねて玄関の土間に置かれていた。リンゴのダンボールは、外フラップ ^{注1)} に何本かステープル針が残った状態で開いていた。
発生状況	発生場所	自宅玄関
	周囲の人 周囲の環境	本児は一人で玄関で遊んでいた。母親やリビングに居り、父は屋外で作業中であった。
	発生年月日	2022 年 12 月 X 日 (日) 午後 8 時 30 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	玄関から本児の泣き声がしたため母親が見に行くと、本児は四つん這いになっており、リンゴの入ったダンボールから飛び出でていたステープル針が本児の右耳介に突き刺さっていた (図 1)。母が急いでダンボールからステープル針を剥がし、耳介に針が刺さった状態のまま医療機関 A の救急外来を受診した。大人の目撃は無かったが、土間との段差に誤って躓き転倒した際にステープル針は、本児の耳の高さの位置にあったと推測された。
医療機関受診時以降の治療経過 転帰		受診時、ステープル針に汚染は無く、創は汚染の無い整った貫通創 (図 2) であった。四種混合ワクチンは年齢相当で接種をしていた。生理食塩水で創部を洗浄し、無鉤鉗子を用いて金具を抜去した。ステープル針の大きさは全長約 40mm、幅 3mm、厚さ 0.5mm、1mm 程度であった (図 3, 4)。抜去後止血を確認し、再度創部を生理食塩水で洗浄し、被覆材で保護して同日は帰宅とした。翌日再診時にも創部の明らかな離開や感染徴候を認めず、再洗浄を実施し、経過良好につき終診とした。 注1) 外フラップ：ダンボールの長さ面の蓋を指す

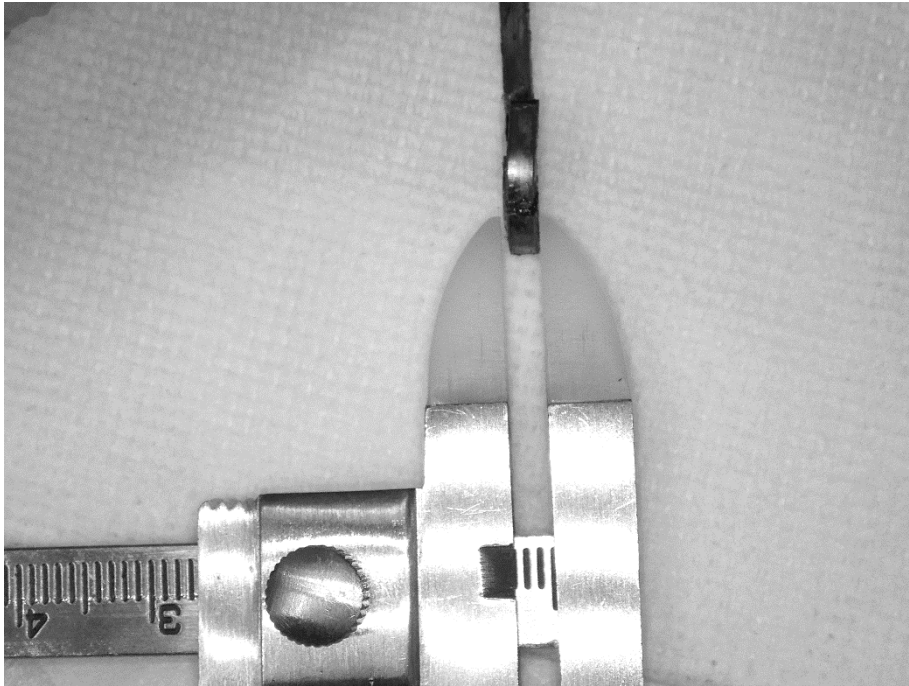
キーワード	耳介、貫通創
-------	--------



【図 1】 来院時の状態 自然に止血していた)



【図 2】 抜鉤し洗浄後の創部 辺縁整の創であった)



【図 3, 4】 ステープル針は全長約 40mm, 幅 3mm, 厚さ 0.5mm-1mm 程度であった)